



青森県感染症発生情報  
(2018年第47週)

I 第47週の発生動向 (2018/11/19~2018/11/25)

1. 水痘については、三戸地方+八戸市保健所管内で警報が解除されました。
2. 咽頭結膜熱については、五所川原保健所管内で警報が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で警報が継続しています。
4. インフルエンザについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、1.18 となり流行シーズン入りの目安である1.00を上回ったことから、**流行シーズンに入った**と考えられます。特に東地方+青森市保健所管内で定点当たり報告数が3.00となり、急増しています。  
【今週から2018/19シーズンの「V. 県内インフルエンザ情報、VI. 県内インフルエンザウイルス検出状況」の掲載を開始します。】
5. マイコプラズマ肺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、むつ保健所管内で定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。

II 第47週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	39	3.00	21	1.40	4	0.27	3	0.43	10	1.11			77	1.18	47
小児科	RSウイルス感染症	3	0.38	3	0.33	5	0.50	2	0.40	1	0.17	4	1.00	18	0.43	-7
	咽頭結膜熱	1	0.13			3	0.30	6	1.20	1	0.17	1	0.25	12	0.29	-4
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2	0.25	2	0.22	7	0.70	2	0.40	3	0.50	2	0.50	18	0.43	-9
	感染性胃腸炎	27	3.38	23	2.56	57	5.70	22	4.40	23	3.83	9	2.25	161	3.83	-28
	水痘	3	0.38			5	0.50							8	0.19	-21
	手足口病	2	0.25	1	0.11	2	0.20	10	2.00	16	2.67			31	0.74	2
	伝染性紅斑					1	0.10	1	0.20	1	0.17	9	2.25	12	0.29	-16
	突発性発しん	3	0.38	3	0.33	4	0.40	2	0.40	2	0.33	1	0.25	15	0.36	1
	ヘルパンギーナ	1	0.13			1	0.10					1	0.25	3	0.07	-3
流行性耳下腺炎					5	0.50					2	0.50	7	0.17	-2	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎			1	0.33			1	1.00					2	0.18	-5
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎							1	1.00			13	13.00	14	2.33	4
	無菌性髄膜炎															-2

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓



後天性免疫不全症候群 (五類全数把握対象疾患)

後天性免疫不全症候群 (AIDS, エイズ) は、ヒト免疫不全ウイルス (HIV) の感染によって免疫不全が生じ、日和見感染症や悪性腫瘍が合併した状態をいいます。

日本国内では、エイズ発症により初めて HIV 感染が判明する例が毎年 400 件以上 (新規 HIV 報告数の約 3 割) 報告されています (図)。そのため、実際の国内 HIV 感染者数は報告件数を大幅に上回っているとことが懸念されています。

近年、治療薬の開発が飛躍的に進み、早期に服薬治療を受ければ免疫力を落とすことなく、通常の生活を送ることが可能となりました。そのため、いかに早く診断し、適切な治療を始めることが出来るかが、個人にとっても社会にとってもこの感染症の拡大を押さえ込むための最も重要なポイントとなっています。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [AIDS \(後天性免疫不全症候群\) とは \(国立感染症研究所 HP\)](#)

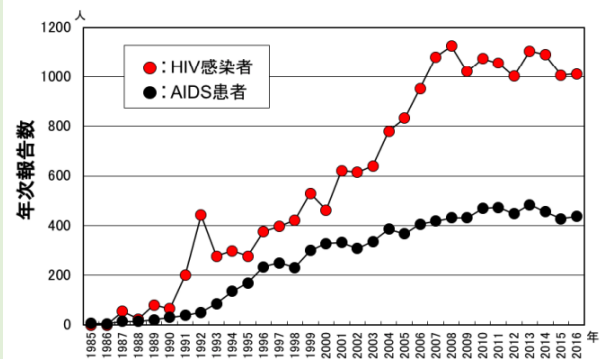


図: 日本国内の新規 HIV 感染者 (無症候性キャリア) 及び新規エイズ患者報告数の年次推移  
出典: 国立感染症研究所 HP



### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、五所川原1人（2018年計：177人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人、八戸市1人（2018年計：15人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2018年計：34人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人、むつ3人（2018年計：67人）

### Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

### Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第40週～2018年第47週）

- ・第47週の患者報告数は77人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは75人【A型：75人、B型：0人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名 \ 週	40	41	42	43	44	45	46	47
東地方+青森市						8	8	39
弘前	3	5	15	9	9	26	10	21
三戸地方+八戸市			1				2	4
五所川原		1		1		1	5	3
上十三							5	10
むつ	2							
合計	5	6	16	10	9	35	30	77

A型（迅速診断キットによる型別）（人）

保健所名 \ 週	40	41	42	43	44	45	46	47
東地方+青森市						8	8	38
弘前	2	5	15	9	9	24	10	21
三戸地方+八戸市							2	4
五所川原		1		1		1	5	3
上十三							5	9
むつ	2							
合計	4	6	15	10	9	33	30	75

B型（迅速診断キットによる型別）（人）

保健所名 \ 週	40	41	42	43	44	45	46	47
東地方+青森市								
弘前	1					2		
三戸地方+八戸市			1					
五所川原								
上十三								
むつ								
合計	1	0	1	0	0	2	0	0

年齢区分別（人）

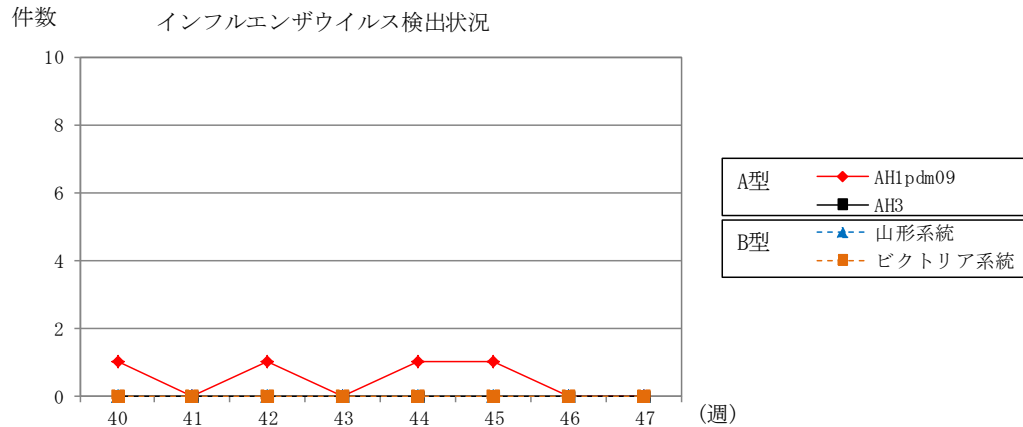
年齢区分 \ 週	40	41	42	43	44	45	46	47
～5ヶ月								
～11ヶ月								2
1歳				1		3		2
2歳		1		2		1		2
3歳				2				8
4歳			2	1			1	7
5歳	2		3	1		1	1	3
6歳		1	2			1	4	8
7歳	1	2	2		1	4	1	6
8歳		1	2			5		7
9歳					1	3	1	8
10～14歳			1		2	7	9	18
15～19歳					1	1	2	3
20～29歳							2	
30～39歳			2		2	3	1	3
40～49歳				2	1	5	4	
50～59歳					1	1	2	
60～69歳	2		1				1	
70～79歳		1					1	
80歳以上			1	1				

## VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス	2018								直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計
	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週		
提出検体数	1	0	1	0	1	1	0	1 (1)	3 (1)	5 (1)
A型	AH1pdm09	1		1		1	1		2	4
	AH3								0	0
B型	山形系統								0	0
	ビクトリア系統								0	0
合計	1	0	1	0	1	1	0	0	2	4

注1) 2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数



## VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第44週～2018年第47週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
44	H30.10.29 ~ H30.11.4	百日咳2人	E型肝炎1人				
45	H30.11.5 ~ H30.11.11	梅毒1人	百日咳2人	百日咳1人		急性弛緩性麻痺1人	百日咳1人
46	H30.11.12 ~ H30.11.18	腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 梅毒1人 百日咳1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			百日咳1人
47	H30.11.19 ~ H30.11.25	侵襲性肺炎球菌感 染症1人		侵襲性肺炎球菌感 染症1人 梅毒1人 百日咳1人			百日咳3人

・第46週に青森市保健所管内で梅毒1人の届け出がありましたので追加しました。

・第46週に弘前保健所管内で侵襲性肺炎球菌感染症1人、梅毒1人、百日咳1人の届け出がありましたので追加しました。

## VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第44週～2018年第47週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
44	H30.10.29 ~ H30.11.4	1	1			1	
45	H30.11.5 ~ H30.11.11	1			2	1	
46	H30.11.12 ~ H30.11.18	1	4				
47	H30.11.19 ~ H30.11.25	1	1		1		

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第46週までの累計）

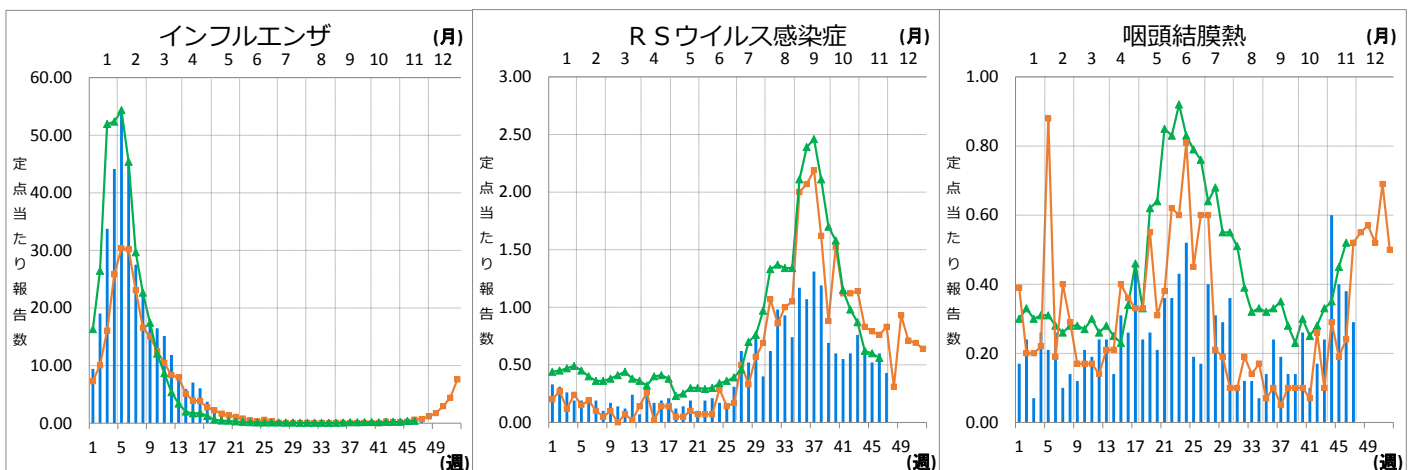
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокウス症	オウム病
累積報告数	19212	4	221	3684	34	21	399	873	11	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	6	3	2	74	1	3	189	177	288	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	47	13	2	1938	30	733	220	1958	111
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	576	24	188	610	1136	66	418	31	2806	388
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	6096	157	115	70	9543	2186	255	20		

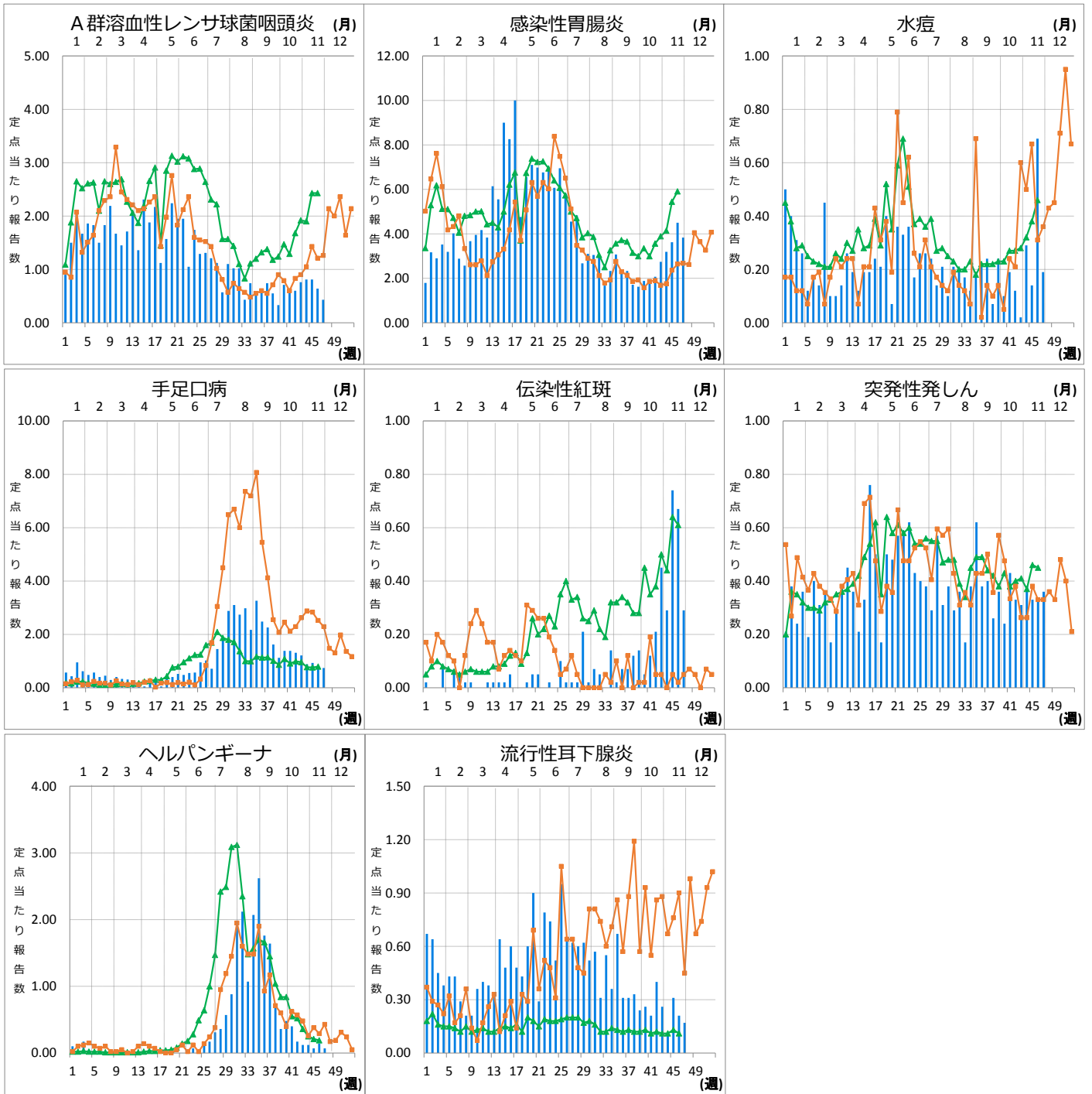
青森県（2018年第1週～2018年第47週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	177	3	34	1	2	1	5	6	3	21
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	1	1	9	3	4	4	1	15	4	34
分類	五類	五類	五類							
疾病名	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳							
累積報告数	1	5	67							

Ⅸ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第47週、ただし全国は前週）

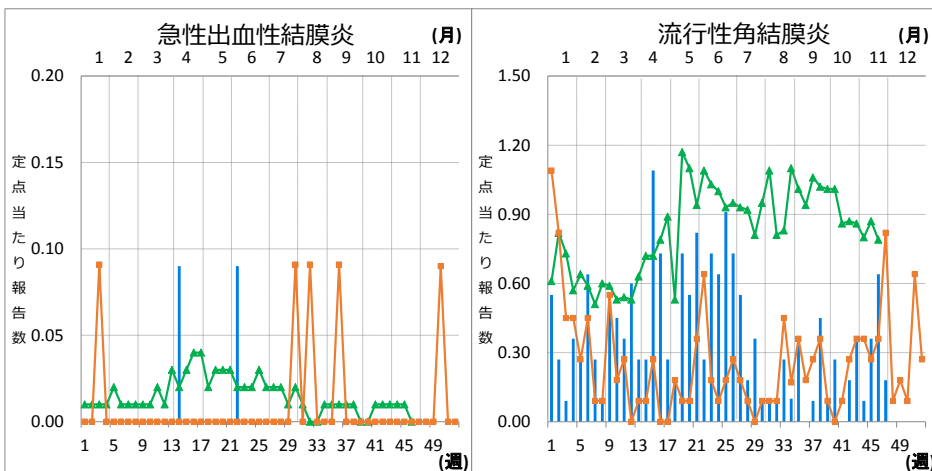
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





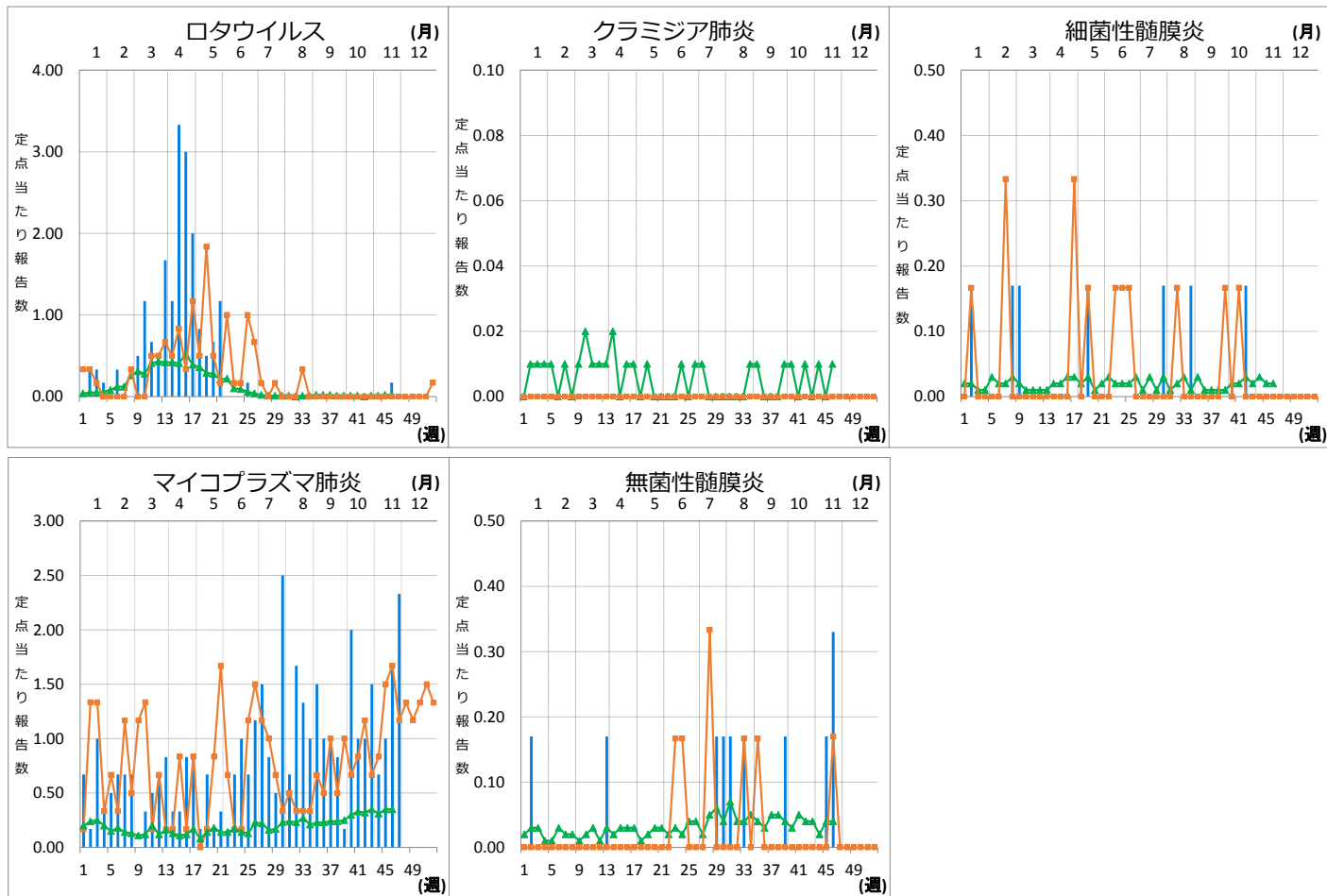
**XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第47週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** —■— は 2018年青森県、 ■——■ は 2017年青森県、 ▲——▲ は 2018年全国



**XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第47週、ただし全国は前週）**

**グラフの説明** —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



**XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況**

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第47週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-39週	40-43週	44週	45週	46週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	1	0	0	0	9
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	26	0	0	0	131
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	1	0	0	0	15
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	26	0	0	0	238